

令和6年度 地域人材による家庭教育支援推進事業

「地域で支える家庭教育支援体制推進事業」「家庭教育支援者資質向上研修」 実施要項

- 1 目的 家庭教育支援者や家庭教育支援に関わる方々の資質向上やネットワーク化を図るための研修を実施し、地域における家庭教育支援の推進体制の充実を図る
- 2 主催 北海道教育庁十勝教育局
- 3 日時 令和6年10月11日（金） 13:00～15:35
- 4 会場 十勝総合振興局3階講堂（帯広市東3条南3丁目）
*会場参加、オンライン参加（Web会議システムZoomで配信）どちらも可
- 5 参加範囲 十勝管内
- 6 対象 家庭教育支援者、読み聞かせ団体、子ども会指導者等の保護者や子どもの活動に関わる方、ボランティア、民生委員、保護者や地域住民、家庭教育サポート企業等の関係者、学校関係者、PTA、保健福祉部局、社会教育関係者、市町村職員、市町村教育委員会職員

7 日 程 12:30 13:00 13:05 13:10 13:50 14:00 14:45 14:55 15:30 15:35

受付	開会 (5分)	① 説明	② 実践発表 (40分)	休憩	③ 事例検討 (45分)	休憩	④ 学習会 ・子どもの現代的な課題への 対応について (35分)	閉会 (5分)
----	------------	------	-----------------	----	-----------------	----	---	------------

8 内 容

①説 明：「地域で支える家庭教育支援体制推進事業について」

説 明 者：十勝教育局教育支援課社会教育指導班

②実践発表：「家庭教育支援における「効果的な取組」とは？」

発 表 者：浦幌町教育委員会社会教育係 係長 本間 司樹 氏

認定NPO法人子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち 理事長 今村 江穂 氏

株式会社オカモト 介護福祉事業本部 統括事業本部長 角藤 智哉 氏

・上記3団体が行っている家庭教育支援活動において、活動内容や具体的な成果、効果的な取組のポイント、今後の展開等を中心に実践発表していただきます。家庭教育支援活動を効果的に実施していく上でのヒントを得ることができます。可能な範囲で、事前アンケートへの回答やその場での質疑応答の時間も設けます。

③事例検討：【MISSION】「朝食を取らない・取れない子どもを救出せよ！」

進 行：十勝教育局教育支援課社会教育指導班

講 師：発表者の3者

・上記【MISSION】について、運営者から設定理由等の説明をした後、参加者が「自分でできること（できたこと）」「誰かと（どこかと）協力したらできそうなこと」「実現可能性を考慮せずに、できたらいいと思うこと」をそれぞれ考えて交流します。講師の3者から同様のアイデアや実践を示していただき、参加者の皆様にとって、今後の取組の参考にしたり、連携の可能性を探ったりできる活動を行います。

④学 習 会：「子どもの現代的な課題への対応について」

説 明 者：十勝教育局社会教育指導班 他

・特別な支援を要する（発達障害も含む）子どもをもつ保護者との関わりについて、事前視聴していただいた動画や提示資料をもとに説明します。その後、発表者や参加者の実践を交流したり、事前アンケートの回答内容の検討をしたりすることで、理解を深めます。

- 9 申込み 参加申込書に必要事項を記入の上、下記担当者あてにメールにて送付してください。
※動画の事前視聴と事前アンケートの御回答に御協力ください。

【参加申込書】

添付ファイルデータを使用

または、

北海道教育庁十勝教育局のホームページからダウンロードもできます。

【事前視聴用動画】

「幼児を養育している保護者とのかかわり」

(独) 公立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センター

https://cpedd.nise.go.jp/videos/videos/view/5013/fdf85e42b05c0033f8b6b71e86a3a5e3?frame_id=4735

【担当者】

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班 福原

E-mail : fukuhara.natsumi@pref.hokkaido.lg.jp

TEL : 0155-26-9243 (平日 8:45~17:30)



【締切】

令和6年(2024年)10月1日(火)

10 その他

- (1) 協議会で撮影した写真については、道教委HPや報道等で活用させていただくことがありますのであらかじめ御了承ください。
- (2) 参加に関わり、手話通訳、要約筆記、拡大文字資料など、特別な配慮が必要な場合は、9月20日(金)までに上記担当者あて御相談ください。
- (3) オンライン参加には、Web会議システムZoomに接続できる環境が必要です。接続に要する機材や通信料は参加者の負担となります。